

南関東防衛



南関東防衛局
広報誌

令和3年
30号



写真: 報湖祭2021 山中湖畔での花火打ち上げ (山中湖観光協会提供 ©miro)

CONTENTS

- 2 山野新局長 着任挨拶
- 3 小波前局長 離任挨拶
- 4~5 防衛省地方協力局の組織改編
- 6~7 防衛施設建設に係る特別優秀工事等の顕彰
- 8 在日米陸軍司令官交代式
- 9 幹部紹介 (令和3年7月1日、8月1日付着任)
- 10 お知らせ ~建設工事等に係る電子契約システムの利用推進など~



防衛省と地域社会の協力を象徴するエンブレム

防衛省は、全国の地方支分部局である地方防衛局を通じて、安全保障政策への理解促進や危機管理対応、生活環境改善等を目的とした「地域社会との協力に係る施策」に積極的に取り組んでいます。今般、施策に関する広報活動を強化することとし、その一環として、地域社会と防衛省との協力を象徴するエンブレムを作成しました。今後は、各種イベント等のパンフレットや防衛省の補助事業で整備した施設への標示等に活用していく予定です。



山野 南関東防衛局長 着任挨拶

7月1日付の人事異動に伴い、新局長として山野大臣官房審議官が着任しましたので、着任挨拶をご紹介します。

南関東防衛局管轄区域内には、自衛隊や在日米軍の重要施設が数多く所在しているところ、これまで当局は、当該自衛隊や在日米軍と地元自治体や住民、企業との間に立ち、その懸け橋となるべく、長年の実績と経験を積み重ねてきたものと承知しており、今、このような歴史ある重要な組織を率いる職責の重みを痛感し、身の引き締まる思いです。

皆様ご承知のとおり、我が国周辺を取り巻く安全保障環境は厳しさを増しています。このような中、防衛施設の安定的な使用のための施策を行い、防衛施設を建設し、防衛政策に係る地方との調整・協議や地方協力確保事務を適切に行っていくためには、職員一人ひとりが防衛省・自衛隊の政策課題についてしっかりと認識した上で、これまでに培った地域社会からの信頼を有益・貴重な財産としつつ、引き続き、地方公共団体や地域住民と積極的に関わりを持ち、諸課題の解決に尽力していくことが重要であると考えます。

また、業務はますます複雑化し、かつ業務量も増加しています。仕事の質を高いレベルで維持しつつ、心身ともに健康な状態で働くことができるよう、職員のワークライフバランスの実現に向けたきめ細かな対応についても、ぜひともお願いしたいと思います。

私は、南関東防衛局長として、地方防衛局の任務・役割の重要性を改めて認識し、皆様の先頭に立って日々の諸課題の解決に向けてまい進して参る所存です。皆様のご協力をお願い申し上げます。



南関東防衛局長 山野 徹



着任式において職員に訓示する山野局長



着任式の模様

小波 前南関東防衛局長 離任挨拶

7月1日付の人事異動に伴い、小波前局長が防衛監察本部副監察監に転任されたので、離任挨拶をご紹介します。



小波 前南関東防衛局長

一昨年の7月に南関東防衛局長に就任して以来、約2年が経ちました。この間、皆様のご協力を得て仕事を進められたことに感謝いたします。

顧みますとこの2年間、色々な出来事がありました。大きな出来事としましては、新型コロナウイルス感染症との闘いがありました。

令和2年2月のダイヤモンド・プリンセス号への対応にあたっては、当局からも現地へ災害派遣要員を派遣いたしました。また、本年4月には、北富士演習場において104移転射撃訓練を実施し、

当局でもコロナ禍における感染防止対策を徹底しながら、現地対策本部にて24時間体制でのサポートを実施してきました。また、令和元年11月には、日米合同委員会において根岸住宅地区の返還に係る原状回復作業のための共同使用に関する合意がなされました。

令和2年3月には、地元自治体等との度重なる協議の結果、第12次東富士演習場使用協定を円満に更新することができ、更には、令和2年3月に自衛隊の統合・共同運用の中核を担う重要防衛基盤として、海上自衛隊船越地区に海上作戦センターを新設いたしました。

これらは、職員の皆様が様々な無理難題にも決して諦めることなく、粘り強く対応して頂いたからこそ実現できたものであり、皆様のこれまでの多大なるご協力に改めて感謝申し上げます。

最後に、職員皆様の今後のご活躍とご家族のご健勝並びに南関東防衛局の益々の発展を祈念いたしまして、離任にあたっての挨拶とさせていただきます。2年間大変お世話になりました。

ありがとうございました。



職員の見送りを受ける小波前局長

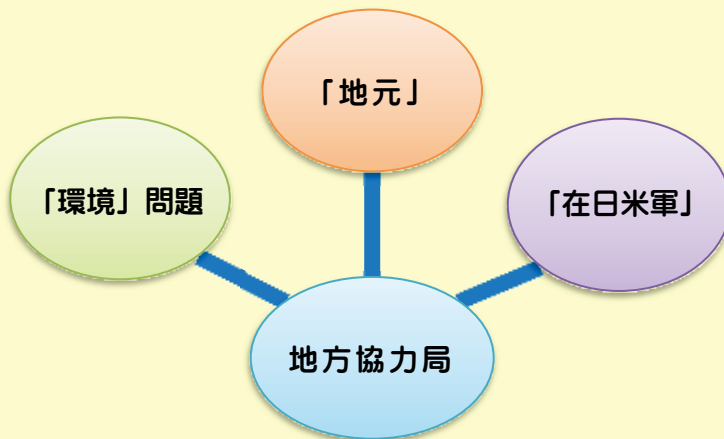
「地方協力局」の新たな体制

防衛省本省の内部部局である地方協力局は、防衛施設周辺の「地方公共団体や地元住民の理解及び協力の確保」等に関する事務を所掌し、防衛省と地方との関係に関わる事務を一体的に担当してきました。

近年、防衛省では、米軍再編関連事業の進展や新たな自衛隊施設整備事業の立ち上げに加え、PFOS等の環境問題など、対応しなければならない課題が飛躍的に増大しつつあります。

こうした課題に迅速かつ適確に対応するために、業務及び体制の効率化・合理化を基本として、スクラップアンドビルドにより機能強化を図ります。

組織改編の3つの軸



「地元」との協力に関する機能強化

既存の施策を用いた「執行」的な発想だけでなく、時代の変化に応じた新たな地元支援策を「企画立案」する機能を強化

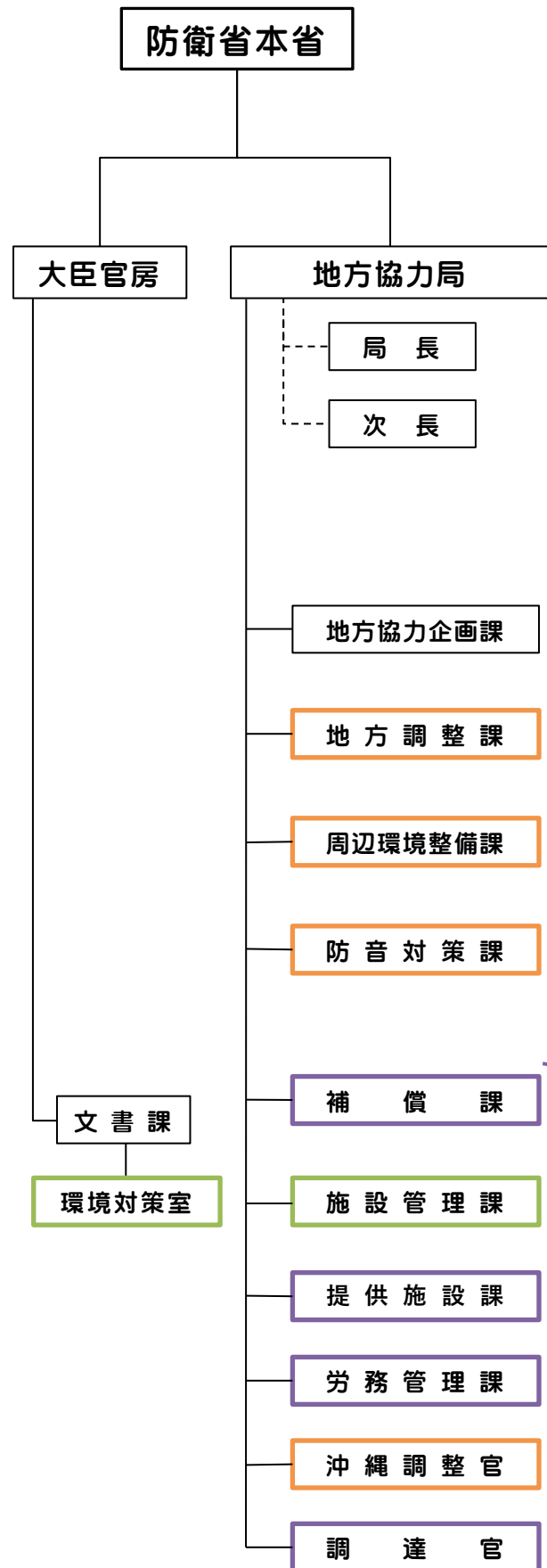
「環境」問題への対応に関する機能強化

時代の要請を踏まえ、環境分野における地域社会との調和を図る取組など、省全体の環境に関する企画立案・実施機能を強化

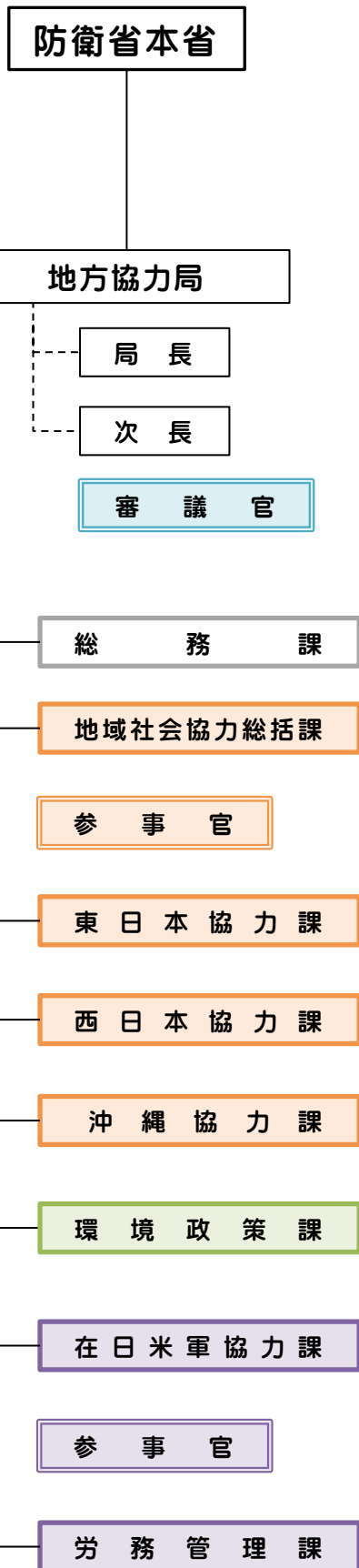
「在日米軍」との協力に関する機能強化

在日米軍との協力を円滑に進めるため、コミュニケーションのワンストップ体制を構築し、総合的かつ戦略的に検討・対処する機能を強化

(改編前)



(改編後)
令和3年7月1日～



大臣官房審議官の新設

- ✓ 「大臣官房審議官」を新設し、沖縄関係の大規模プロジェクト等を担当するとともに、省としての環境問題への対応を総括整理します。

改編後の局の筆頭課の機能を整理

- ✓ 地方協力局の筆頭課として「総務課」を新設し、「地元」との協力、「環境」問題への対応、「在日米軍」との協力の3つの機能について、法令、予算、組織、人事などの角度から束ね、総合調整とともに、総合的な政策の企画立案を行うことで、局全体の効率的・効果的な事務の遂行を図ります。
- ✓ 地方公共団体等からの要請窓口を担当します。

「地元」との協力を担当する課を再編成

- ✓ これまでの周辺環境整備課と防音対策課を中心に局内の関連機能を集約して、「地域社会協力総括課」を新設し、柔軟に地元支援に係る政策を企画立案できる体制を整備します。
- ✓ 大規模プロジェクトを担当し、省内横断的な課題に対応する「大臣官房参事官」を新設します。
- ✓ 沖縄を除く全国の管轄区域を担当する地方調整課を「東日本協力課」と「西日本協力課」の2課体制に改め、沖縄調整官を重要性に鑑みて「沖縄協力課」とし、地元のニーズに応じたきめ細やかな各種施策を企画立案できる体制を整備します。

「環境」に関する本省内部部局の課を一本化

- ✓ 「環境」に関する事務と組織を大臣官房から移管して、本省内部部局において「環境」問題を担当する課を一本化し、省としての企画立案・実施機能の強化を図ります。
- ✓ これまでの施設管理課を母体として、「環境政策課」を新設し、環境分野における地域社会との調和に係る政策を企画立案できる体制を整備します。

「在日米軍」との協力を担当する課を集約

- ✓ これまでの地方協力企画課在日米軍調整室とグアム移転事業室、地方調整課訓練調整室、補償課、提供施設課、調達官の機能を集約して「在日米軍協力課」を新設し、一元的に在日米軍との調整・交渉を実施する体制を整備します。
- ✓ 在日米軍の訓練、事件・事故への対応や在日米軍に係る各種安全対策等を担当し、省内横断的な課題に対応する「大臣官房参事官」を新設します。
- ✓ 労務管理課は、これまでの体制を維持します。

防衛施設建設に係る特別優秀工事等の顕彰

■ 令和3年度特別優秀工事等顕彰

防衛省では、地方防衛局等が発注する建設工事等に関し、建設工事の品質確保等を図り、施設取得の円滑な推進に資することを目的に、施工状況等が特に優れており、防衛施設の建設工事として他の模範とするにふさわしい建設工事を、特別優秀工事等として大臣官房施設監が顕彰することとしております。

今年度の特別優秀工事等顕彰については、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ、各地方防衛局において顕彰することとなりました。

当局では、令和3年度特別優秀工事等として、船越宿舎建設工事から2件の工事が選定され、令和3年7月5日、特別優秀工事2件及び特別優秀工事技術者2名の受賞者に対して、宮川調達部長より大臣官房施設監顕彰状が伝達されました。

【特別優秀工事 2件】



船越(29)宿舎A棟新設建築工事

(特別優秀工事顕彰)
大豊建設(株)東京建築支店

(特別優秀工事技術者顕彰)
監理技術者 豊田 昌弘 氏



船越外(30)宿舎新設等土木工事

(特別優秀工事顕彰)
みらい建設工業(株)横浜営業支店

(特別優秀工事技術者顕彰)
監理技術者 戸邊 慶太郎 氏



■ 優秀工事等13社に顕彰状

優秀工事等顕彰は、南関東防衛局が発注する建設工事又は業務のうち、令和2年度に完成した工事等を対象に、工事目的物の出来形及び品質に優れているものであって、他の模範とするにふさわしい建設工事などを選定し、顕彰するものです。

今年度は、令和3年7月5日、優秀工事及び優秀工事技術者顕彰10件、優秀業務及び優秀業務技術者顕彰3件の受賞者に対して、宮川調達部長から優秀工事等顕彰状を授与しました。

【優秀工事 10件】

船越(29) 宿舎B棟新設建築工事 東亜建設工業(株) 東日本建築支店	船越(29) 宿舎C棟新設建築工事 大豊建設(株) 東京建築支店
富士外(30) 学校新設等建築工事 (株)浅沼組 静岡営業所	防大(29) 学生舎改修建築工事 (株)渡辺組
長浦(30) 岸壁整備等追加工事 東亜建設工業・あおみ建設JV	船越(30) 宿舎新設法面整備工事 (株)吉田組 東京支店
船越(29) 宿舎新設電気その他工事 中央電気工事(株) 東京支社	船越(29) 宿舎新設機械工事 大成設備(株) 神奈川支店
横須賀米軍(29) 管理棟(633) 新設等電気その他工事 富士古河E & C(株)	富士外(30) 学校新設等電気その他工事 末廣屋電機(株) 東京支店

【優秀業務 3件】

防大(29) 建築工事監理業務 (株)松下設計	船越(30) 建築工事監理業務 (株)阿波設計事務所 東京支店
船越(1) 基本検討業務 (株)長大 南関東支店	

在日米陸軍司令官交代式

令和3年6月25日（金）に神奈川県内（座間市、相模原市）に所在するキャンプ座間において、在日米軍陸軍司令官の交代式が開催されました。

式典には、キャンプ座間が所在する自治体の佐藤座間市長、小山相模原市市長公室総合政策部長を始め関係者の方々が陸上自衛隊関係者などが招待されました。また、南関東防衛局からも小波局長（当時）を始めとする数名が出席しました。



隊旗を受け取るヴァウル新司令官（写真は在日米陸軍提供）

交代式では、晴天の下、厳粛な雰囲気の中、隊旗の受け渡しが行われるとともに、前司令官のルオン少将は「自由で開かれたインド太平洋地域を確固とするため、太平洋地域の平和と安定を守る役割を果たして下さっている皆様に感謝します。日米双方が勇気とリーダーシップを発揮することで、自由で開かれたインド太平洋地域を維持していくことができる。」と離任の挨拶を述べ、新司令官となったヴァウル准将（9月2日付で少将に昇任）は「我々は先人たちが収めてきた功績に加え、彼らが築いた名声に答えていくことが任務であり、在日米陸軍及び陸上自衛隊をもってすればそれが叶うと確信している。ともに協力し、在日米軍関係者と陸上自衛隊を支援するために、最善の努力を尽くすことを誓う。」と決意を語り、参列者は温かい拍手で応えました。

キャンプ座間には日本における在日米陸軍の中心となる司令部、陸軍施設の管理や基地運用支援に関わるサービス等の中心となる基地管理本部の司令部が置かれています。



離任挨拶するルオン少将



着任挨拶するヴァウル准将

幹部紹介（令和3年7月1日付着任ほか）



南関東防衛局次長
本田 光徳

横浜は25年ぶりの勤務ですが、着任後改めて感じたことは、当局管内には沖縄に次いで多くの米軍施設が存在しているということです。

そして幸いにして米軍人は日本の風土や慣習に好意的であり、地元自治体の方々も前向きにその存在を受け入れていただいております。

その良好な関係の維持に尽力することが我々の一つの大きな使命であると痛感しました。もちろん当局の業務は自衛隊の活動に伴う様々な地元との調整、施設の建設、防衛装備品の調達等、多岐に亘っておりますが、いずれにおいても我が組織が国内の安全保障環境の潤滑油として機能するよう努力してまいります。



調達部長
宮川 真一郎

7月1日付けて調達部長として着任しました宮川です。調達部は、自衛隊や在日米軍が使用する施設の建設を主に行う建設部門と自衛隊の活動に必要な装備品を健全に調達するための監督・検査を主に行う装備部門で構成され、両部門とも我が国の安全保障を支えていく重要な要素のひとつです。我々の取り組みや業務遂行に対して皆様のご理解とご協力が得られるよう一つ一つ丁寧に物事を進め、関係する方々と良好な信頼を築いてまいりたいと考えています。南関東防衛局は初勤務ということもあり、管内地域についてより多くの事を学んでいきたいと思っています。



調達部次長
土門 英文

7月1日付けて調達部次長に着任しました土門です。南関東防衛局の勤務は約6年ぶり、横浜防衛施設局時代を含めて4回目となります。私は、自衛隊及び在日米軍が使用する施設の建設を担当しており、これま

でも様々な建設工事に従事してきましたが、計画の円滑な推進には関係自治体、地域住民の皆様及び建設業界の皆様のご理解とご協力が重要と認識しています。これからも皆様方との関係を大切にしながら業務に取り組んでいきますのでよろしくお願いいたします。



労務管理官
早川 亮一

8月1日付けて労務管理官を拝命した早川です。南関東防衛局管内には、横須賀海軍施設、キャンプ座間、厚木海軍飛行場などの主要な在日米軍施設が多数所在し、それらの施設には、9千人を超える駐留軍等労働者が勤務しており、当局はその雇用主の立場にあります。労務管理官室は、労務管理の担当部署として、今後とも関係機関と緊密に連携し、駐留軍等労働者の勤務環境等の更なる向上に取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

～ 南関東防衛局からのお知らせ ～

履行確実性総合評価方式及び 第三者履行確認制度の適用範囲について

- 南関東防衛局では、建設コンサルタント業務の品質確保に向けた取り組みとして、本年度から一部の建設コンサルタント等業務について履行確実性総合評価方式と第三者履行確認制度の適用範囲を試行的に広げています。入札に参加を希望する企業の方は、入札公告等をご確認のうえご参加をお願いします。

環境調査の業務のうち、土壌調査業務については、下限なく履行確実性総合評価落札方式としています。

測量調査業務、地質調査業務は、下限なく第三者履行確認制度の対象としています。

建設工事等に係る電子契約システムの利用推進について

- 南関東防衛局が発注する建設工事及び建設コンサルタント業務の契約手続きについて、従前の紙媒体から電子契約システムを利用しての電子化を推進しています。
- 電子契約により契約締結した場合、次のようなメリットがあります。
 - ① 印紙税が不要
 - ② 書類の持参による交通費・郵送費の削減
 - ③ ペーパーレス化による押印が不要
 - ④ 書類保管所の確保が不要
- 電子契約システムの利用にあたっては、下記URLをご参照ください。

URL <https://www.gecs.mlit.go.jp/>



- ご不明な点がございましたら、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

南関東防衛局 総務部 契約課
神奈川県横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎13階
TEL 045-211-7143 FAX 045-212-2806